

## 軽米町百人委員会第3回はつらつ子育て部会議事録

○開催日時：平成29年11月17日（金）午後6時30分～

○開催場所：軽米町役場庁舎3階会議室

○出席者 委員：20名中13名出席

事務局：健康福祉課 於本、坂下、日向、加藤

教育委員会事務局 佐々木

総務課 梅木、菅原

○開会

（副部長）皆さんこんばんは。第3回目軽米町百人委員会のはつらつ子育て部会を始めさせていただきますと思います。

○部長挨拶

（部長）皆さんこんばんは。お忙しい中のはつらつ子育て部会にご参加していただきありがとうございます。町ぐるみの子育て支援体制の構築ということで話し合ってきましたけれども、今日は地域でこんなことができたらいいな。また、こんなボランティアがあるといいなというようなことを話し合っていきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

（副部長）今日は、まだ私たちの任期も長いのでディスカッションみたいな形で意見を吸い取ってくださいという風に役場の担当者から言われていますので、現実的なもの理想的なものひっくるめていろんな意見を出してもらいたいと思っていますので宜しくお願いします。

前回どのようなことが出されたのか、私が読み上げてみたいと思いますので、思い出して頂いて、それを土台にしながら積み重ねるような感じで今日の話し合いをしていきたいと思いますので報告します。

今回は、世代間交流策、それか何かやれることはないかなというところで話し合いました。軽米町は給食費の助成を受けていてありがたい。世代交流は、おじいさんおばあさんたちと交流する場があれば本当に良いと思う。これは、学校とか老人ホーム等の活動としてやっているけれども、地域で自然にそういうやり取りができる場がないのではないかとということでした。それからピヨピヨ広場に行っている方からは、同じ年の子がいなくてせつなく良い活動しているのだけれども、もっと上手くやれるというかもったいない。活動がもったいない感じに見えるという声がかけられました。それから、医療費などの助成があってありがたい。良い制度がいっぱいあるのでもっと宣伝すれば良いと思う。同じく町のアピールがもっと町外へ発信していいくらい良い所が多い。制度が充実しているし立地条件も良い。軽米町は良い所だよというアピールはもっとしても良い町だと思うことです。軽米幼稚園の人数が少ない。実際に20数人しかいないということで、保育園と一緒にしたらどうだろうという思い切った意見なども出ております。軽米幼稚園が持っている環境はもったいない。それから、幼稚園保育園に入るもっと年の低い子どもたちの一時預かりがないという意見が出されております。北上の方では民間託児所がいくつかあったり、子育てサポーター制度のような独特のオリジナルの制度があるというような事が紹介されました。そして、盛

岡に詳しい方からは保育園で一時預かりがしてもらえた。それから、病児保育も1時間千円でやってもらえるような制度があるということが紹介されました。それから、認定こども園について二戸、九戸は既にやっているという事が出されています。それから、スポーツについて、人がいないのに部活の数が多いという現実的なコメントが出されました。軽米高校野球部9人でやるスポーツだけれども、10人集めるのも大変な現実があるという声が聞かれました。近隣の取り組み状況として葛巻町辺りはとても独創的な発想で取り組みをしていて、バイオリン。内容は忘れたのですが、バイオリンの何かする取り組みを町がバックアップしてやったり。または、これは後で私が調べたのですが、葛巻は本当に町から人材を作って町に残したいという事で東京の優秀な塾の先生を呼んで町のお金で勉強させるという一流の大学に葛巻町から入れる。全員が葛巻町に戻ってくるわけではないけれども、外で活躍してもらってもいいし。そのうちの何割かが葛巻町に戻ってきて町づくりに努めてくればいいという記事等を私は見ました。それから、さっきの認定こども園の話ですが、幼稚園保育園の統合。それによって分割していたパワーが一つになることによって、余欲が出来て病児保育とか一時預かりの道等ができるのではないかという意見が出ました。それから、子どもたちが遊べる場が地域には少ないと感じるということで友達同士の誰かの家が集団の遊び場になっているという事で、そういうお家は若干の負担感があるというような意見があったりして、もっと町内のいろんな場所で、外で子どもたちが集まって遊べる場所があればいいなということで、交流駅が今建設計画があるので、それを利用すればいいのではないかという意見も出されました。現実的な理解としては病児保育に対応できる作りが軽米の幼児施設はなっていない。厳しい所がある。ハード面だけではなくてソフトのマンパワーの方も専門職の不足で厳しいということ。以上です。

いろいろ厳しい現実がありますけれども、こういうガイドブックなどの一番最初の町長のコメントとしては、軽米町は子育て支援日本一を目指し子どもを育てることに優しい町づくりに取り組んでおりますということですので、それを正に私たちがこれから求める事はその日本一につながっていく事だと思っておりますので、もしかしたら町は動いてくれるのではないかという風に思ったりしております。更に皆さんの意見をどんどん出していってもらえればと思います。

#### ○議事

(副部会長) 今日は地域でこんなことができるよね。とかこんなボランティアがあるといういなということで。住民ができるようなことなど、なんでも良いと思います。

(委員4) ガイドブックを見ると十分すぎるくらいのバックアップはしてもらっているので、それをどう活用していくのか。子育てもですが、まず第一に仕事がないと軽米町には定住しないという流れになっている。仕事を求めてどんどん町外に出て行くとやはり子育てがどんどん厳しくなっていくかなと最近感じているところです。大学までいきました。そこで終わりじゃなくて軽米町に帰ってきてからの活躍ですよ。それを工夫して、戻って来れるような何かがあればいいのかなと感じています。

(委員8) 前回参加できなかったのも、前回の話を聞いていて思った事。確かに公園っていうものがないなってここに来た時に思った。そして同じ世代の子と会う機会が保育園とか学校に入ると少ないので、で、同じ子どもが会う場所がないからあんまり若いお母さんたちと外付き合いがないってなると行き詰まってしまうと思います。

(副部会長) 公園デビューは大変だとか言いますが、そのデビューする場所すらないと

いう感じですかね。軽米は。

(委員7) やっぱり私としては前回かなり話合われた一時預かりのできる体制を作って欲しい。もう私自身は必要ない年齢に子どもはなりましたが、やっぱり町の外から特におじいちゃんおばあちゃんが居ない状態に入ってくるお母さんにとっては一時預かりの場所がないというのが結構大変な事だと思うので、それをやっぱりボランティアという形ででもいいので何か作れるといいなと思います。

(委員5) 私は二戸で仕事をしていて若い同じ職場の夫婦とか軽米の人と二戸の人が結婚して職場が二戸だから二戸に住むって思うじゃないですか。たいていは。でも、一戸に住むんですよ。なぜかという、一戸は子育てをしやすい町だと言うんです。だから、20代で結婚して一戸に住んでいるという同僚は何組かいますね。詳しくはちょっと分からないのですが、まず小児科があるというのが一つなのかなと。それ以外に小児科は今のところ二戸病院とあと軽米病院の小児科とかだと思うのですけれど。で、職場は二戸だから通ってきているので、軽米に住んでもらえたらいいんじゃないかなって凄く思うんですよ。軽米も悪くないなと思うのがまずインターがあるっていう事と、あと東京まで行く高速バスが止まるっていうそれが凄くそれは便利だなんて思うんですよ。だから、意外と家賃もそんなに高くないし、軽米に住めば意外とメリットはあるよと同僚には言っているんですけど、なかなか軽米に住む人はいない。でも、コメリもユニバースも薬王堂もあるんだよって言う、「へー」って言うんですよ。わざわざ軽米食堂まで鴨汁定食が好きで食べに来ると言う二戸の人もあるわけですし、ロコミとかで。だから、良い所もあるわけですよ。もうちょっとそれをホームページとかで前面に出して、子育てに凄く良い町ということをアピールしたらもっと住んでくれる人増えないかなとか。さっきお話があった公園とかがあって、九戸とかだったらオドデ館みたいな。ああいうところに公園とか温泉が併設されていたらもっと人が来るんだろうなって思ったりもするし、多分住む人も。ここで仕事してくれるのが一番いいけれど、ここから通って二戸とか八戸とか久慈まで仕事をしてもらうという風になってもいいのではないかという風に思う。良い所をもっと知ってもらうようなアピールが必要だと思いました。

(副部長) 私たちは議会をやっているわけではなく、百人委員会なのでそういう夢のような話とかですね、どんどん出してもらったらそれがひょうたんからこまで夢が現実になるというような所もあるかもしれませんので、本当に夢でも希望でも言ってもらえれば。

(委員1) 私も九戸に仕事のため通っていますが、九戸では住民から働きかけて岩手日報さんに来てもらったり、テレビの取材を受けたりして、カボチャ祭りなどの行事を宣伝するというのを聞いて、実際ここ数日ニュースを見ていると子どもたちが総合の授業で、フリーマーケットを商店街で実施し、そこに町内のお年寄りたちが買い物に行ってふれあいがあるという活気があるところが出ていて、こういう活動は軽米町にない。町民に対しての軽米テレビがあるけど、町外に発信することは少ないのかなという気がした。市日の日であれ何であれちょっと学校に働きかけてそういう活動をするのも活気作りの一環としてはいいのかなと思いました。中心街のご老人と触れ合う機会は、そういうところから作っていかないといけないのかなと思います。

あと1つは、私、弟が東京にいます。軽米町に戻ってきたいと思うかと聞いたら、軽米町に戻ってきて子育てしたいと思うかって聞いたら、戻りたくはないと思

うし、戻れなくもないと思うけど、軽米町かという薄い反応が返ってきて。印象が薄いというかここがいいなというところがないんだというのを実感して、それこそ前回の高校の話じゃないんですが、軽米高校には専門的なことを学べるところがないとか、特色はやっぱり作っていかねばならないのかなと思いました。

(副会長) その九戸村の子どもたちのフリーマーケットは、例えばテレビとか岩手日報とかによって紹介されたってという事ですか。

(委員1) 九戸村はカボチャ祭りの時に合わせていつも新聞やニュースに主催者が働きかけて何度かニュースになったり新聞に出たりしているみたいです。フリーマーケットというか総合学習でというのは前沢と盛岡が出てましたね。

(委員9) 乳幼児だとお母さん方がこんなところが欲しいですよ、こんな事があるといいですよということが話できたんですが、子育てというのは一応高校までと捉えると、中学生とか高校生は地域の人たちにどんな事をして欲しいのかと何となくそういうのを聞いてみたいなっていうちょっと思いました。結局どんな事をしてもらいたいからじゃあ私たちが動くよという事の方がいいのか。私たちがまず動き始めるのもね、子どもたちと意思疎通ができてないとなれば、今お母さん方の話は一時預かり病児保育とかやっぱりそういう事とかいっぱい出てきてたのでああそうなんだなと分かるのですが、ちょっとそういうところも頭をよぎりました。

(副会長) この辺は皆さんの中で中高のお子さんが出て、子どもの声を代弁するような形で紹介してもらってもいいかもしれませんね。

(委員2) 私は中学生の娘がますが、その娘が夏に笹渡の老人クラブの人たちと一緒に笹渡保育園の奉仕作業をしたんですよ。内容は園庭の草取りと窓拭きだったそうです。まず、触れ合う機会がなかったので、どうだったと聞いたら子どもの声も聞いておじいちゃんおばあちゃんと話もできて面白かったよ。給食も園児と一緒に食べて楽しかったよって。昔は笹渡小中学校の時は世代間交流とかがあってそういうのがあったんですけれど、今閉校になって無くなりました。久々にこういう交流があって良かったなと思って、また老人クラブのおじいちゃんおばあちゃんも一緒に交流できたのも良かったし、また続けてほしいなと思っていました。中学校の先生たちにも話してみたいなと思いました。

(副会長) それは軽米中学校の活動ではなくて地域の活動ですか。

(委員2) 軽米中学校の活動として笹渡地区は笹渡保育園で老人クラブの人たちと一緒に。

(副会長) では、例えば山内の生徒だったら晴山保育園とか。

(委員2) ちょっと山内さんの方は分からないですけども、3学年で地域ごとに散らばってやってみたいですね。夏だったと思います。

(委員3) さっき一戸の話があり、私もちょっと一戸に住んでいる知り合いの話をいろいろ考えてたんですけど。引っ越しをされて二戸に住んでたんですよ。二戸に住んで数カ月で一戸に住みなおした知り合いがいて、何でか聞いたら、子育てしている人が借りられる一戸建ての家があるので、それが凄く安くて、抽選で当たったから家賃払うよりもこっちの方がいいと、一戸病院の近くの一戸建てで、ちょっと小さめですけど一大家族子どもが住めば十分なぐらいの家があって、とにかく安い。かんぶんとか病院も近いし凄く住みやすいつて言っていて、保育料も1万円だったかな。私も転勤でこっちに来るときにどこに住もうかと一戸、二戸、八戸、軽米でいろいろ資料を集めて。確か一戸だと保育料も一律1万円だったか、とにかく子育てしやすい町ですみた

いなアピールをされているところで、住むところもありますよみたいなのがあったんですが、軽米に住むから軽米でいいかという事で軽米に住んでますけど。そういうのもあったし、今みんな車も持っているし、遠くても通う人は通っているから自分で住むところを選ぶ時代だなんて思っていて、遠くたって二戸から盛岡から毎日通っている人もいるし。だからどう住んでもらうかという事が必要なのかなと思いました。あとちょっと場所が全然違うんですけど名古屋行ってきて、田舎の結構郊外のところで。町で作れとかいう話じゃないんですけど、お風呂があって産直があって魚屋があって、ただっ広い芝生があってちょっとお茶するスペースがあるところにすごい人が来ていて。やっぱり人を集めるにはお風呂かなとか、名古屋に行っていて軽米にもこれがあったらみんな来るんじゃないかなとか、観光バスが来るくらい人を寄せる場所があって。JA でやってたかな。元気の里だかというところがあって。それを作れという話ではないですけど、人を寄せるにはどうしたらいいんだろうとか、やっぱりお風呂が一番良いかなとか考えていました。以上です。

(副部長) 軽米にもお風呂お風呂って言っている方もいらっしゃいますよね。

(委員6) それこそお風呂前にありましたね、お話が。種市の方におおさわ温泉があるけど、ちょっと遊び場があってたまにはバルーンみたいなものを作って子どもたちを遊ばせるようなものを作ったりしていますね。あのでっかい膨らませて中で遊ばせるやつ。ああいうものとか置くところがあってお母さんたちもちょっと休みながら、お茶をしたりする場所がありますよね。

(副部長) それは行政でやっている機関みたいですか。民間ではないような感じ。会社でやっているのかな。

(委員6) 多分。たまに、毎日ではないですね。土日みたいなっていうか。

(副部長) はい。部長さん一巡した意見聞いてどうですか。

(部長) それぞれ、そうだねということが伝わってきますけれども、やっぱり第一に人がいないと、若い人がいないと子どももいないということですよ。そこから変わっていかないと無理なんじゃないかなというのも考えられるんですけども。大学終わって戻ってきても臨時で使われてもやっぱり結婚するには大変ですよ。ちゃんとした仕事がないと戻ってくるのも戻ってこれないかなって、要は仕事ができる場が必要かなとは思いますが。

(副部長) いろんな意見ありがとうございました。では、役場の方も巻き込んで、今の参加者のご意見とか聞いて役場とリンクして何か。

(健康福祉課長) やはり私たちが子どもの時とかお母さん方の30代40代の方は、世代のギャップもあると思うんですけども、当時は結構、奥さん方が働いてなかったような感じで。今はほとんど共稼ぎみたいな感じで。やはり重要といたしますか。その世代の昔私らが子育てする考えと、今との差が。中高生の生徒さんと児童の子供さんを抱えている方とちょっと違うんじゃないかなと思っております。うちの子どもは幼稚園だったんですけども、行ったと思えばすぐ帰ってくる感じがありましたけれども、小中高は学校の方で面倒をみてもらったんですけども。やっぱり今は違うのかなと思っています。一時保育、病後児の一時預かりとか何か良い方法があればいいなと思うのが、私の現実の課題でもあるんですけども、いろんな周辺の状況等を工夫しながら考えていきたいと思っています。一番新しい晴山保育園も今年で3年目。建てる時はそういった発想も無しにオープンしたという事もありますし、やっぱり上手く皆さん

の要望を施設の建設に。

(副部長) 本当になかなか10年後がどうなるかを予想してもそういうのがなかったりして。ただ今いらっしゃるメンバーというのは本当に自分たちも当事者であるし、問題意識を持って集まった方々ですので、最ももしかしたら先見の可能性もある方たちが集まっていると思いますので、どんどん意見出していきたいと思います。

皆さんから聞いた意見の中で、幼稚園保育園に入る前の一時預かりがやっぱり軽米にはなかったっていう視点のところをちょっとくすぐってみたいと思います。この辺について何か軽米のマンパワーでこういうことがあるよという可能性とかありますか。

(委員9) 晴山保育園は一つ自由に使える部屋があったはずですが、職員室の向かいに。そこは、それこそ一時預かりや子育て支援ももしかしたらしなければならない、いろんな部屋に使えるフリースペースのような場所があり、もし仮に未満児が多くなって部屋に収納できなくなったらそこが部屋になるかもしれないという部屋があるんですが、多分未満児さんが多くなってそっちを部屋として使っているのかもしれないですけども。一応そういうお部屋は用意はしていたんです。ただ、一時預かり、前は軽米保育園でも子育て支援センターを立ち上げた時に、来ても良いですよということで好きなようにお使い下さいとしていて、転勤してきたお母さん方が使うんですよ。やっぱりおじいちゃんおばあちゃんもいないし、親戚もいないから。そういう時もありました。ところがその方々が転勤していったと同時に消滅しました。そして、そのうちにどんどん赤ちゃんが入るようになってきたらやっぱり部屋数が足りなくなってきたり、増設したりなんかしていて、もうできない状態になってきたのかなという感じがしないでもないです。だから、全く何もしなかった訳でもなかったんです。

(副部長) では、過去に若干実績があったような感じですか。入園はしていないけれども。その保育園の中で預かって。

(委員9) そうでした。あとは、公園もそうだったんです。一時ね、どこでも子どもたちが遊べないから貸してくださいっていう事で、じゃ園庭を開放しましょうという事にしたんです。そして、軽米保育園の園庭を開放していたら、猫や犬がもじゃもじゃ入って来て、もう砂場にはうんちがいっぱいあるし、子どもが遊べない状態になって、毎日先生方が一通り見て消毒してそれから子どもたちを遊ばせるという形になってしまっただけで、これでは大変じゃないかということになって、それも結局やってはみたんですがね。なにか工夫は出来るなと思っているんです。例えば幼稚園だったら2時にお帰りだったら、もうそこはフリーで好きなように遊んでという感じにはなるけれど、ただ、犬とかお散歩で連れて来ないで下さいとか。工夫すればどうにかできそうなんです。前もやってみてちょっとそれが駄目だったので、次のステップに行かなかったんですよね。だからそこで終わっちゃう。やってきてはきているんですけど。ちょっと工夫が必要。

(副部長) 地域に開放しますと言って、犬や猫が呼んで自分で来た訳じゃなくて、散歩組が入って来られた感じですか。

(委員9) やっぱりお散歩組の方々が来たり。あとあの池田小学校事件っていうのがあったでしょ。それから余計きつくなった。前は朝来たら解放して、子どもが帰ってから閉めるじゃなくて、自分たちが帰る時に閉めて。もう自由だったんですよ。あの事件があってからもう徹底して。もう開けてられないって事になり。いろいろ歴史がありまして。これからでもちょっと考えて行けば、何か良いアイデアがあるかもしれない

いですよね。

(副部会長) そうですね。これら話が発展していきますと、幼稚園と保育園を統合して可能性をもっと広げたいという風になるかもしれませんし、発想を変えればやっぱり施設。保育園幼稚園というのは、とにかく命を守るっていうのがもう一番にある限りはそんなに一昔前のように自由に誰でもかれでもというのは難しい事もとても分かる気がするので、そういう点ではあまり学校、幼稚園、保育園を頼るよりは新しい交流駅とかそういう地域の施設でそういうのを充実させていった方がいいのかなという思いも出てきたりするわけですけども。

(委員 9) 幼稚園の場合は出来るような気もするんですよね。2時に子どもたちが帰ると、そこには居残りさんが何人かいるかもしれないけど、先生は常に2、3人ついてるから。幼稚園の場合は誰もいない状態なので、お母さんたちが遊ばせたりなんかするのは十分できるだろうし。

(副部会長) 現状はその立派な幼児が遊べるスペースがあるけれど、2時以降は誰も使っていないというのが現状。

(委員 9) そうですね。たまにお母さんや子どもたちがお話ししたり遊んだり。だからもう少し臨機応変に考えてもいいかなという感じもするんですが。ただ、施設の方になれば、もし仮にお母さんと子どもがいる時は良いんだけど、別の子が自由に入って来て怪我したら誰が責任取るかということになってくるから非常に考えが複雑になってくる。

あとは、〇〇さんがおっしゃった今は自分で住むところ選ぶ時代という事ですよね。そうすると、一戸町の話が出てきましたけど。具体的には小児科がある。まあどこも交通のアクセスは良い。子育てする人達が凄く安く借りられる住むところがある。そして、保育園や幼稚園が凄く安いというそういうところを考えていくと、これだったら若いお母さんたちが子育てしたいよ、住みたいよという町にすればいいわけですよね。自然環境は良いし、あとどこに力を入れてやっていけば子育てしやすく、みんなが寄ってきて子育てしたいのかという風になれば日本一の子育てにつながるのかなという感じがしました。

(副部会長) 今の事に関連した辺りで、公園対策とか何とかで皆さんの希望とか夢とかあったら軽米町のこの条件の中で出してもらいたいと思いますけれどもね。

(委員 4) 体育館を新しくしたいですね。せっかく良い球場とサッカー総合グラウンドとかあって、そこにパークゴルフ場。県内屈指なんでしょうね、あの難コース。それがあってプラス体育館があると凄く良いなと思うんですよね。そこで子どもが遊べるようなキッズスペース、トレーニングルーム等が完備されていれば他の招待、選手とか地域での大会も頻繁にできるのではないかと思います。テニスも屋外だけでなく屋内でもやっているの、コート4面か5面取れば試合の数もこなせるだろうしいいのかなと思います。

(副部会長) 場所のイメージはハートフルですか。新しい体育館。

(委員 4) 場所はあっちの方が利便的にはいいのかなと。あまり動かななくても。いつも家にいるとハートフルグラウンドここですかって迷って入ってくる人結構いるんですよね。家まで来て、「違います。もう一本向こうです。」って言って続いた時期があったんです。看板ももう少し見やすくは案内表示は出来ないんですかね。

(副部会長) できると思います。大きくするとかね。目立つように。視覚的に。その辺は

ちょっとやってもらってもいいのかなという事ですね。

(委員3) その体育館に付け加えて、ハートフルとかテニスも結構盛んだしサッカーとかいろいろスポーツで結構人が来ているじゃないですか。ただ泊まる場所がない。もしここに泊まる場所があったら、ここで働く人が増えて雇用が生まれてここに泊まる人もいればそこら辺で買い物をする人も増えるから、泊まる場所があれば結構需要があるんじゃないかなと。

子どもたちの公園の話もですが、遊具もあれば尚良いですが、ただ広い原っぱだけでもあると子どもたちが集いやすいとか、子どもだけじゃなく、散歩する私たち大人とか、そういうのがあるといいなと思ったりして。盛岡だと競馬場の跡のところに公園が出来ていて、本当にただただ広い。広くて一周歩く人たちだったり、原っぱでサッカーしたり遊んだりする子とかがいて、こういう年寄りも遊べる場所があっただけいいなと思ったりしていました。

(副会長) 剣道の浪岡杯とかテニスの大会とかも岩手屈指という感じですよ。

(委員3) 泊まる場所がないから八戸に泊まるのか二戸に泊まるのかになるので。

(委員1) 青少年の家みたいなところでもいいのかなと。二段ベッドが部屋にあってちょっと広間にテレビがあってとか、九戸もふるさと館が素泊まりで温泉があってスキーとか研修に来た人たちが使った授業もあるみたいだし。青少年の家のことを出せば、たまにワークショップがあり、イワナのつかみ取りしたりカレーを作ったり食べたり。青少年の家の指導者は、何人かは付くけど、他は二戸の高校生とかのボランティアを募って開催しているみたいで。うちの娘も一泊で行ったのですが、低学年の子が同じ学年の他校の子と触れ合う事が少ないから楽しかった、また行きたいと。泊まる場所があればそういう活動にも発展できるのかなと。宿泊施設があればスポーツだけでなく、軽米町を知ってもらえる事はできるのかなと感じます。

(副会長) 立派な温泉施設じゃなくても、青少年の家みたいな若者が安く泊まれるようなものを軽米のエリアの中に置いても良いのではないかなという事ですね。青少年の家に行けばいいんだということではなくて。軽米にそういうのがあっても面白い。

(委員1) 安ければご飯は外に出て食べても需要はあるんじゃないかなと風に思います。

(副会長) 民間の食堂たちもお客さんが増えて良いです。

(委員4) 紫波にオガールという施設があります。役場の隣にあって、2階が宿泊スペース。1階には、バレーの強いチームが建てた建物らしくて2面バレーコートがあって。その1階の空いたスペースが飲食できるようになって、コンビニも24時間。その向かいには多分図書館が併設されている。そこで全部が賄える。宿泊できてご飯も食べれてコンビニもあって居酒屋とかも入っていたりします。宿泊は素泊まり4千円くらい。あの施設は良いなと。そういう施設があれば、合宿しに来る大学生とかクラブチームとかあるので、そこに泊まってそこを拠点に体育館に行ったりとか。そういう施設があるといいのかなと。

(副会長) 役場の方でこのオガールは行政の建物なのか民間の建物なのか知っている方はいらっしゃいますか。

(教育次長) 民間です。行政の支援も受けながら民間の建設会社。そこでバレーボールの男子の社会人チームを設けて、そのチームは全国一位になっているんですけどね。

(副会長) そうですね。さっきも言ったように軽米の剣道とかテニスとか凄い盛んなので泊まる人はあるでしょうね。一時的であれ。そして凄い喜ぶでしょうね。大会もあ

ってコートも十分にあってしかも泊まって移動の便もいいとなると町おこしになるかもしれないし、テニス協会とか剣道協会の方々が主催して盛り上がっているところなので。民間活力、住民活力を活かしながら取り組める企画になる可能性もありますね。特に軽米はそういう宿泊施設が限られているので。ゴルフ場辺りには泊まれるとは聞いておりますけれども。もっと中央で目立つような場所でそういうのがあっても良いという意見がでました。

(委員9) 今青少年ホームは泊まれますよね。泊まれますけど古い。凄く安いです。

(教育次長) お金はもらいますけど。どこかの大学生が夏に一団体来てやりますけど、雨漏りもしていますし。

(部会長) やっぱりトイレから直さないよ。

(委員9) 泊まるところが欲しいとなるとそこが手っ取り早い。青少年ホームは安くて、ご飯はコンビニもあるし、どこかで食べても良い。自分達で作っても良いだろうし。

(部会長) 学校が統合して空いているでしょ。そういうところもちょっと改造していって泊まれるようにするくらいだったらできるのかな。

(委員9) 今、軽高の躍進館でなくてなんて言いましたか。

(委員1) 柔道のとこ？セミナーハウス？合宿所ですか。軽高生は泊まってる。

(委員9) セミナーハウス。泊まれるでしょ。合宿所。あそこにも泊まれる場所がある。

(君成田) 瀧村さん、大清水旅館2カ所泊まれるところがある。

(部会長) でも何人かじゃないの。

(委員9) そうそう。何人か。

(副部会長) シーズンにコンスタントに顧客が取れないとなかなか経営も難しいでしょうからね。

(委員4) 大会に付随してくるのがまず弁当、朝ご飯、夕食。その辺の需要が出てくる。それを上手く回せば雇用が生まれる。

(副部会長) いずれにしても軽米はさっき薄いとかね。印象がないとかありましたけれども、結構スポーツなんかでは頑張ってる分野もあるというのは見えてきましたし。前軽米高校で活躍された野球部の監督さんが違う高校に行ってから夏合宿にここに来て、野球に専念できるからっていう事で、何年か続けて来ていたりした時もありました。ですから工夫次第ではね、呼び込めるような事はあるかもしれませんね。

(委員9) 結構他から来ますよ学生さん呼ぶと。結構かかるからいいけど。

(副部会長) 後は外部の人が入ってくるというのは町民自体の活性化にもなりますね。

(委員9) なんか続かないと思いません。軽米町は。昔、宇漢米焼酎も続かなかった。

(健康福祉課長) 今あるけど、本格焼酎で有りじゃないですか。

(委員1) 温泉の話から本当に夢の話ですけど。交流駅ができて周りに温泉もあって。一戸にも公園とか遊具がある子どもの森があって、近くに温泉、スキー場、泊まる場所もあって人は集まります。子どもを連れてお母さんたちは、夏はキャンプに行ったりお風呂もあるしスキーに行ったり、遊ぶのはタダだし。お金がかかるものもありますけど、そういう施設は集まるんじゃないかなと。

(副部会長) 合宿施設と温泉施設が合体すれば、選手が来なくても地元の人たちがある程度そこに入ってお金を落としてくれれば年間経営が可能になる感じ。

(委員3) 湯っこの効果が結構大きいかなと思います。

(副部会長) この際天然温泉でなくても沸かし湯でもいいかなと思いますね。はつらつ子

育てから温泉が第一の提案ですとなったら、超ベテラン議員は息を吹き返して一気にどうですか。

(健康福祉課長) 子どもを温泉で、大きなお風呂で育てたいという。

(委員1) それもいいですね。遠い所について湯冷めとかあると連れてけないし。

(副会長) じゃ冗談じゃなくてちょっと記録しておきますね。入浴施設。

(委員9) 鍵だもんね。やはり、入浴宿泊が一緒だとそういうのが。

(副会長) スポーツに来た人たちは汗流さなきゃいけないから。絶対ね。

(委員3) そこにこういう施設があるから軽米で合宿しようとか。結構そういうことで泊決めたりしているから便利が良い、風呂がある、きれいだ。子どもたちは今きれいなところでないと泊まらないそうなので。山の民宿に泊まろうというみんなブーブー言うそうなので。やっぱそういうのも時代なので。どこでも良いという話でないみたいですね。

(委員5) 安代では安比のペンションに泊まってくればその大会の参加費は無料という大会がある。その町の宿泊施設に泊まることが条件で。結構サッカーだけじゃなくても、ハートフル杯とかいろんなスポーツやっていますよね。そういうのも良いのかなと思ったり。

(副会長) アイディアですよ。ちょっとした補助なんだけど何となく乗っかれば凄い特したような気分させるようなアイディアみたいな。そういうのも使わないとね。

(委員3) マラソン大会とかありますよね。県外から来てるというように。

(副会長) 頑張ってますよね。陸上協会も盛んで。結構スポーツが盛んなのかもしれない軽米は。ゲートボールも日本一になったりしたんじゃないかな。ゲートボールが生まれた辺りは。

(部会長) 1月にも九州に行くとか言っていましたよ。

(副会長) 今でも盛んなんだ。凄い。

(委員3) 大会の時もB&Gのところにはいっぱい軽トラ止まっていて、ゲートボールも盛んだなと思ったりして。

(副会長) 一気に青少年のスポーツ関係の方に盛り上がってきましたけれども。こちらで話題を変えまして、交流駅。子育てに関する希望とか聞かせて頂いて。町の方ではどこまで進んでいるのか。案外進んでいる可能性もありますけれども、まだ意外と、いやー迷っているんだよ。アイディア募集中だよということであれば、注目するかもしれませんので。第1回部会では図面まで出ていましたけれども、こういうのを入れて欲しいとかこういうのあればいいとか。前にも出してもらいましたが、改めて出していただければ記録しておいて提出できるかもしれませんので。

(委員3) 中学生、高校生のお父さんお母さんがそこにいさせて欲しいという話があったのを思い出して、結局ここはバスとかもなかったりすると親が迎えに来なければならぬというのがありますよね。だからそういう居場所を少し提供してあげて、ちゃんとルールを守って、ロビーに椅子かなにか置いてあげたり、図書館もできるから図書館で勉強するとかね。そういう居場所を作ってあげるのは優しいかなと思います。そこから辺うろろするのは結構危なかったりするので。

(副会長) 軽米高校の校門の側の兼田商店の前の交差点だけど、多い時15人くらいがごやごやといたり。そういう子たちが歩いて散歩がてら行ってゆったりしたところで親を待つというイメージもありますよね。

(委員7) どちらからというと、交流駅ができた後にその周りに公園を作ってほしい。そういう子どもたちが遊べる広い場所があるといいなと思ったのと、この間子どもと日曜日に図書館に行った時に、結構図書館で勉強している高校生だか中学生だかが居て席の数が10あるかないかくらいのところで何人かがやっていたので、やっぱり図書館で勉強する子たちもいるんだなと思ったので、新しい図書館はそういう場所がもうちょっと充実して作られていたりとか。私前に住んでいた場所が北上だったので北上の例になってしまうのですが、北上にはさくらホールというホールがあり、そのホールが舞台とかできるホールが2つ。大きいのと小さいのとあってその他にギターとか楽器を演奏するための防音設備が整った部屋があったりとか、子どもを遊ばせられるような部屋があり、おもちゃとかが既に置いてある空間で、空いていればお金を払って貸切で遊ばせられたりとか、さくらホールでイベントがある時の託児の場所としてそういうところが使われていたり。ホールの通路のフリースペースに2人とか4人で座れるようなテーブルが椅子がいっぱいあって、土日とかにちょっとアルバイトの打ち合わせをタダだからあそこでやるとか、高校生とか中学生がテスト勉強を友達とするためにそこでやっていたりとかそういうスペースがあったんです。そのホールの開館時間の中での利用になるんですけど、そういう場所があると中学生とか高校生、あと小学生が宿題を一緒にどっかのお家でお邪魔できないんだったらそこで集まるとか。そういう気軽に使える場所ができるのかなと思いました。

(副部長) 前、植物公園のとてもモデルになるような良い施設があると紹介してくれましたが、その辺は採用できるような余地ができるんだったらそのまま持ってくるような感じで軽米にもというのがありますか。

(委員4) ネットが天井まで張ってあり親が下からネットの上に上がった子どもを見れるような感じになっていて、スパイラル状にぐるぐる回って歩けるような。小さい子どもの森みたいな感じですかね。

(副部長) 軽米でも背伸びせずに作れる設備の可能性もありますよね。市民がそのアルバイトの相談とか取引など気軽にいろんな人が大人も来れたり子どもが来たり勉強できるスペースとか。なんかせっかくできる箱物なので、どれだけ多くの割合のしかも若い人から年寄りまで入りやすいかというあたりがイメージとしては楽しいですよ。

(委員9) だいたい交流駅の中身は子育ての部分、調理する部分、それから文化会館の様に椅子があるステージ。それから図書館が結構広く机をを並べたり勉強できたりするスペースがあるような感じですし。あと若者がフィットネスみたいな事ができるような場所とか。一応小さい子から年寄りまでの部分で意見がいろいろ入っています。でも中身は気軽にこうしたいですと言ったら臨機応変に使って下さい、いいですよという感じにはした方がいいかな。これはこうでなければならぬとなると使いにくくなると思います。

(副部長) 公園のスペースはあるようですか。芝生とか。

(委員9) 敷地の部分だけまずとりあえず。

(副部長) 路線バスが巡回するバスターミナルにもなるんですか。

(委員9) バスターミナルになるので、バスが行ったり来たりする部分と、公園は敷地的にはまだ。予算があるので。

(委員4) それは決定で変更はできない。

(教育次長) まだ決定ではないです。まだ細かいところは。これから市民の皆さんとの説

明会があって意見を聞いて変更の余地は十分ありますので。

(委員 9) では、建物自体はだいたい決まったかな。あと周辺はどうかのかなと思ってたんですが、まず決定でなければどんどん今のうちに。

(委員 4) それなら防音設備のある部屋があった方が小学校でも。

(教育次長) リハーサル室はあります。

(委員 4) 高校生の頃、担いでギターはどこでやろうかみたいな。

(委員 3) 高校生とかが借りられたらいいですね。

(委員 3) 全然話が別ですが、役場が古いじゃないですか。なんで一緒にしなかったのかなと思ったりして。交流駅の今流行りの複合施設とか。お金かかるだろうけど。

(健康福祉課長) 役場はここ 2、3 年で一応改修したんですよ。これは前ここら辺の壁の所にファンがあったんです。本当は、もっと壁なんかとかね貼り替えればリニューアルした感じになるんですけど。

(委員 3) どうせだったら交流駅と一緒に全て新しくしたらいいんじゃないとかって。ここを広くして公園にするとか。すいません。

(健康福祉課長) そうですね。役所は新しくしたいな。南部町は今度新しくすると言っていましたっけ。

(委員 3) 結構今役場は新しい施設が多いので。どうせ箱物を作るのだったら一緒にしたらいいんじゃないかと思っている人もいるんじゃないかな。

(副部会長) 今修復したから 20 年くらいは大丈夫でしょうね。

(健康福祉課長) その予定だと思えます。そっちに太陽光パネルがあったでしょ。地中熱の循環の関係でも工事をして、耐震関係でも改修しています。

(委員 3) 交流駅に泊まるどころ。和室にして布団があって泊まるどころがあったらいいんじゃないかなと。そして、隣に温泉があったら最高。

(委員 9) 要望としてはフィットネスのところにはシャワー室は付けるような感じにはなってる。だから運動してそこにきてシャワー浴びて泊まる。それもまとめて。

(副部会長) そうですね。夢が広がりますね。それでは、時間にもなってまいりましたので部会長さんにまとめてもらいますかね。

(部会長) 夢は凄く大きくなってきましたけれども、その夢が少しでも叶うといいんですけども。本当に交流駅の方も防音の部屋もあるってということなので早速帰ったら息子に言わなきゃ。あるそうだよと。やっぱり山に行ってサックスを吹いているんですけど、山に行ってやっぱり寒いって言う。車の中でやってもやっぱり音が取れないので。今、家建てているんですけど、部屋の横に音楽室というか防音の部屋、1 人入れるくらいのを作っている。

(委員 9) 結構利用者がいるかもしれない。防音のね。

(副部会長) 皆さんからいろんな意見を聞かせて頂きましてありがとうございます。私はちょっと思ったのは、今日私たちから出た意見を例えばスポーツ部会の剣道テニス、あの方たちとリンクして大変な盛り上がりになるんじゃないかとかというようなものもあったりして、私たちの提案として今後まとめていけばいいなという風に思っています。さっきも言ったように小さい町ですので普通に大人しくしていれば生き残っていけないんじゃないかなと、独創的な意見をバンバン出して小さいけど元気な町だなという風にしていくしか。小さいなりに頑張っていけるように私たちからも発信していけばいいなという風に思っております。

(健康福祉課長) 実際その通りなんですよね。夢なり思いはですね捨てないで、諦めないで持っているのが一番良いと思います。

(教育次長) 昨年、スポーツ部会で体育館の事を凄く強く言ったんです。そしたら今年予算がつかまして、体育館の改修がほしい 8,000 万円くらいで行っています。ですから皆様強く言えばね、大丈夫実現すると思います。例えば全国でも給食費の無償にしたのが 80 自治体くらいありますので、そんなこととかね、子育て支援住宅とかですね、バンバンお話した方がいいと思います。

(保健師長) お話伺っていて、昔の事をちょっと思い出したんですけれども。シルバー人材センターで一時的に子どもさんを預かるという事をやっていたこともありました。それで、例えばお母さんが歯医者さんに行きたいとき、子どもさんが小さいから、待合室で子どもさんを抱っこしていてくれる。そういうのがあったなというのをふと思い出した。続かないというのは本当にそうだなって思っ。

困った時に何かやってくれる地域の人がいればいいのかなど。一時預かりも大事だし、病児保育とかも大事だけでも地域で何か、もっと見れるというか。困ったらば手伝いますよってというのがあれば。研修を受けなければいけないかもしれないけど作って登録してそこに持ち込んで、タダだとあれかもしれないから。例えばお金払ってもいいかもしれないし。だからそういうのもやってもいいのかなとふと思いました。

(副部会長) 現在の軽米のマンパワーに見合ったということですよ。

(保健師長) そういうものがあっても良いかなと思ったし、宿泊施設もあればいいなど。私もいろいろ皆の話を聞いていて夢をいろいろ思い描いて。コンサートとかなんか凄く歌手を呼んでそしたら泊まれる場所もあればいいかなと思いました。今久慈市になったけど山形村にだっご飯食べて宿泊しながらスキーやったりする所もあるし、大野にだっご泊施設と温泉がある。

(総務課担当主幹) まず、今の若い人たちは住む所が選べる。そういう中で軽米は薄い感じがするなというお話を聞きまして、いずれどこの市町村もこういうことをやりたいなという事はやっている。あと、やはりその住んで頂いている方々から町を良くしてもらおうような、出てきたような意見を頂いて、それを役場やあるいは商店の皆さんで少しでも取り入れていければいいかなと思っていました。あとは、百人委員会は今日で 3 回目でございます。12 月には提案。中間報告をするような事になりますので。それを踏まえて、また来年からこういう風にしていったら良いかというのをお話をし頂ければいいかなと思います。

(健康福祉課主事) 前回の部会で、医療費の関係で質問がありましたので、町民生活課から確認しましたのでお知らせします。小学校就学前のお子さんまでが現物給付と言って病院でお金を払わないで会計する。そして、小学生は小さな色のついた紙を出して一旦自己負担で支払って後から償還払いという形で戻ってくるという仕組みで、小学生以上高校生まで全員そうになっています。県内であれば同じで、県外の病院であれば領収書を持って申請書と一緒に町民生活課に出して後から戻ってくるという事になっているそうです。他の市町村でも小学生以上も現物給付できないかという意見が出ているようで、今そこについては検討中という事でした。

(副部会長) この議論が軽米町の役に立つこと祈って、またこれからも活動を続けていきたいと思しますのでこれで終わりたいと思います。本日は大変お疲れ様でした。